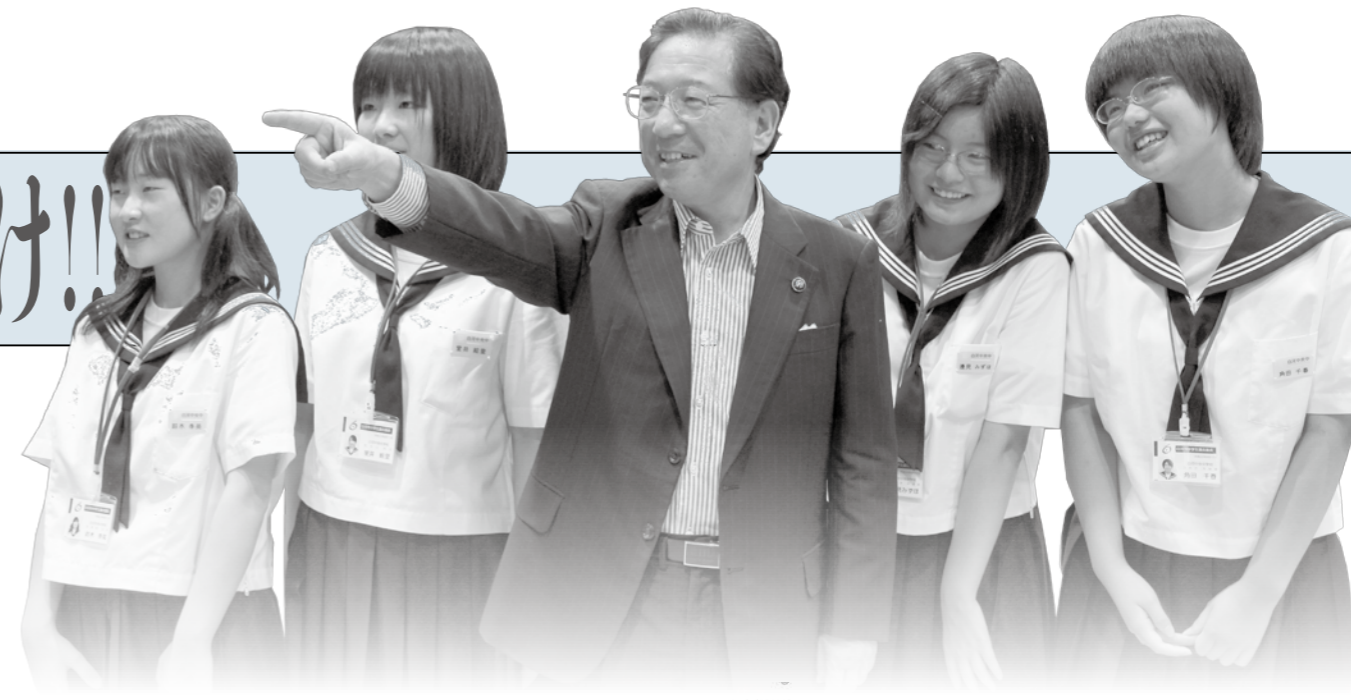




私たちの考えていること。市政に届け!!



新市となり初めての「中学生議会」が8月11日に開催され、市内8中学校から26人が「議員」として参加しました。中学生は、鈴木市長らに市政の課題や将来の展望について質問しました。今月号では、議会に参加した中学生の感想を抜粋して掲載します。

中学生議員

※質問順に掲載

▷白河南中 小出大地さん・北條蒼志夫さん・柳田南さん ▷大信中 佐藤聖さん・鈴木芽生さん ▷東中 我妻冬梨さん・鈴木慎吾さん・賀屋由布さん ▷東北中 鈴木涼子さん 三浦詩織さん 堀越李紗さん ▷表郷中 角田祐輝 萩川正さん 根本有子さん ▷白二中 佐藤喜治さん 杉村美香さん 根本卓さん 矢内千尋さん 千葉美遥さん ▷中央中 高木孝亮さん 鈴木李英さん 室井絵里さん 角田千春さん 邊見みずほさん ▷五箇中 仁科壘さん 齋藤芽生さん



角田千春さん
(中央中3年)

白河市をもっと深く知ることが大切です

「自由学区制が叶わなかった場合、どう対応するのか」という私の質問に、「他の学校と合同で部活動をする」という回答を頂きました。これなら生徒の不満も解消でき、地域との交流も図れるという答えに驚きました。

これからの担い手である私たちは、白河市のことをよく知り、全市民で協力することが大切だと感じました。



佐藤聖さん
(大信中3年)

同じ思いを持って活気あるまちづくりを

他の中学生が市だけでなく地球温暖化など世界の問題を質問していることは驚きでした。この中学生議会を通して、同じ市に住む人にも同じ思いを持ってもらいたいと思いました。今は関係のないことかもしれませんが、将来、僕たちが住みよいくところになり、活気あるまちづくりをしなければならぬと思います。



千葉美遥さん
(白二中3年)

これからの白河と私たちの未来が楽しみに

当日は、議場に入ったり、議長の前で発言したりと、緊張する場面が多くて不安もありましたが、自分の考えを議場で発表していくうちに徐々に自信ができました。

本当に市を動かしている方たちに自分の出した提案についての答弁をもらったことで、これからの白河と私たちの未来への楽しみが増えました。



萩川正さん
(表郷中3年)

市長の体験を踏まえた回答に感動

自分自身悩みながら質問を考えました。「生活していて困っていることを質問したら」という家族のアドバイスを受け、下校時の暗い中、怖い思いをして家に帰ったことを思い出し、街灯について質問しました。

その質問で、市長さんに自身の学生時代の危険な体験を踏まえて答えていただいたことに大変感動しました。



齋藤芽生さん
(五箇中3年)

みんな白河が好きなのが心に響いた

この議会に参加して感じたことは、「みんな白河が好きなんだろう」ということです。私や他の中学生議員の質問に熱心に答えてる市長さんたちを見ると、白河市のために頑張っているのが伝わってきて、何だかとてもうれしく思いました。

今後は、中学生議会で出た案や意見をもとに、白河市が発展してくれればと思います。



賀屋由布さん
(東中3年)

議会体験を機に、日常生活に生かしていく

質問をするときにとても緊張しましたが、市長さんは分かりやすく丁寧に答えてくださったので、自分の中でしっかり伝わったのだという安心感と達成感が生まれました。

他の人たちは、みんな自分では考えなかった観点から質問していました。この点を学び、今回の体験を機に、日常生活に生かしていきたいと思っています。



小出大地さん
(白河南中3年)

答弁後の質問で、議論の活性化を

僕が質問した新図書館については、開館時間だけでなく、どんな図書館にしていくのかも分かり、ますます図書館に興味を持ち、ぜひ、利用しようと思いました。

今回は、答弁を聞いて終わりだったため、疑問に思ったことを聞くことができませんでしたが、できれば、答弁の後に質問をさせていただきたかったです。



三浦詩織さん
(東北中3年)

議会で白河が大きく変わることを実感

私は大切なことを2つ学びました。一つは発言の大切さです。

二つ目は、市議の大切さです。みんなの意見を聞いて答えるときに「改善したいと思います」という言葉が出てきて、私はこの議会で白河市がまた大きく変わるんだという気がして、本当に市議は大切なんだと思うことができました。